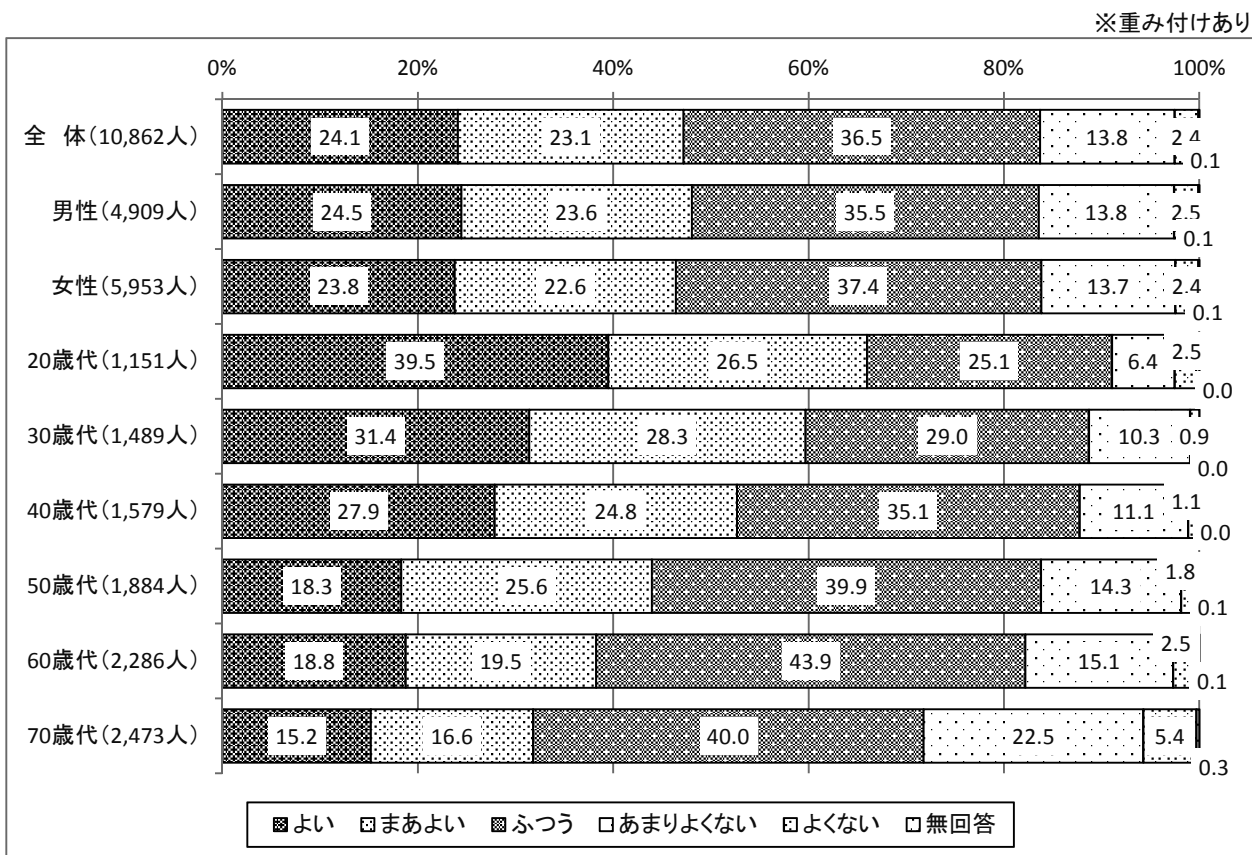


調査結果

健康状況について

問1 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(〇は1つ)



健康状態の調査では、全体の5割強が比較的健康状態がよく(「よい」または「まあよい」と回答)、8割強が普通以上の状態(「よい」、「まあよい」、「ふつう」と回答)であった。

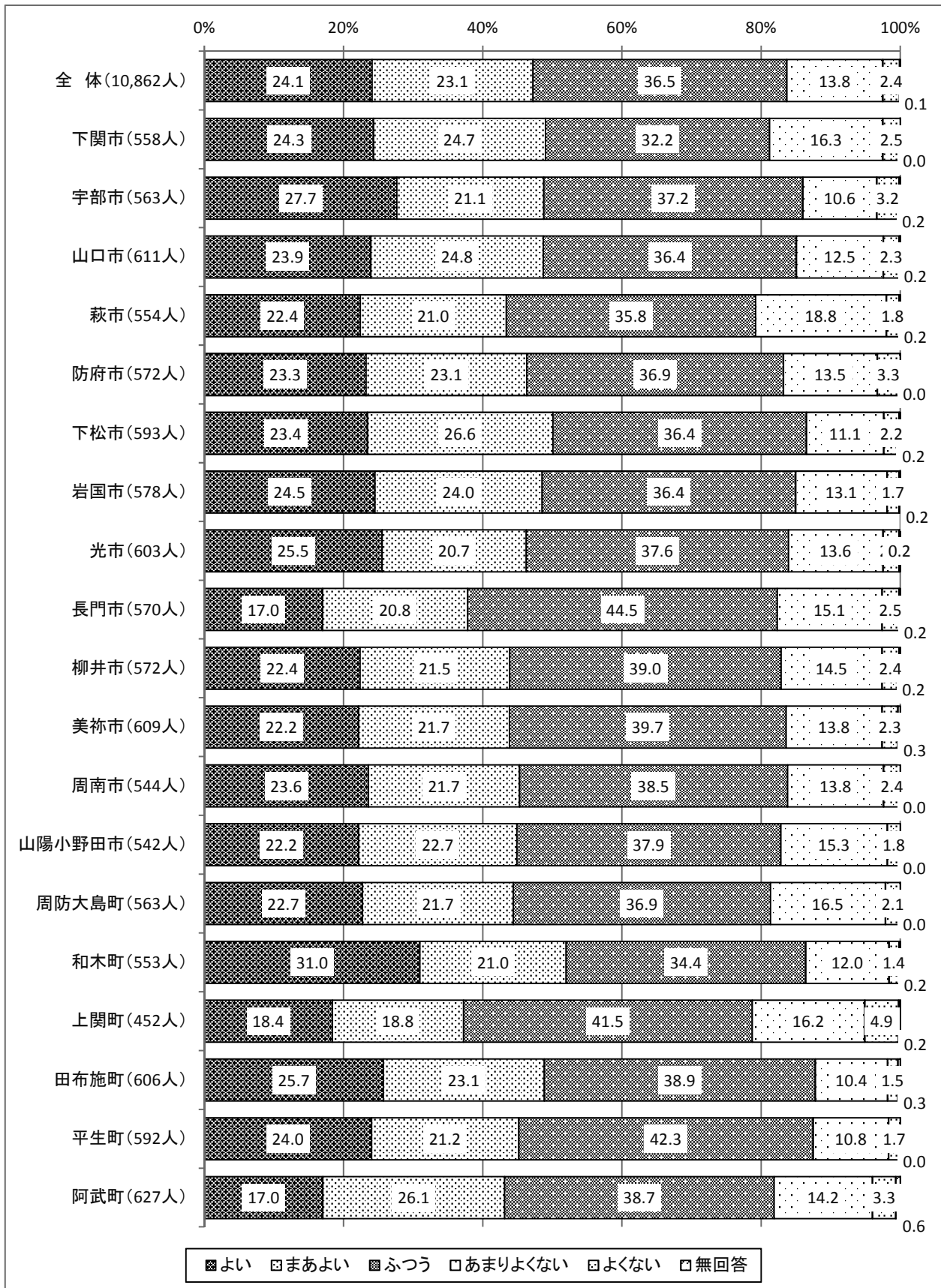
性別の集計では、男女間の回答に大きな差はなかった。

年代別の集計では、年を重ねるにつれて健康状態が「よい」と回答した割合は低下していた。

市町別の集計では、和木町は、健康状態が「よい」と回答した割合が最も高かった。長門市、上関町、阿武町において健康状態が「よい」と回答した割合が低かった。

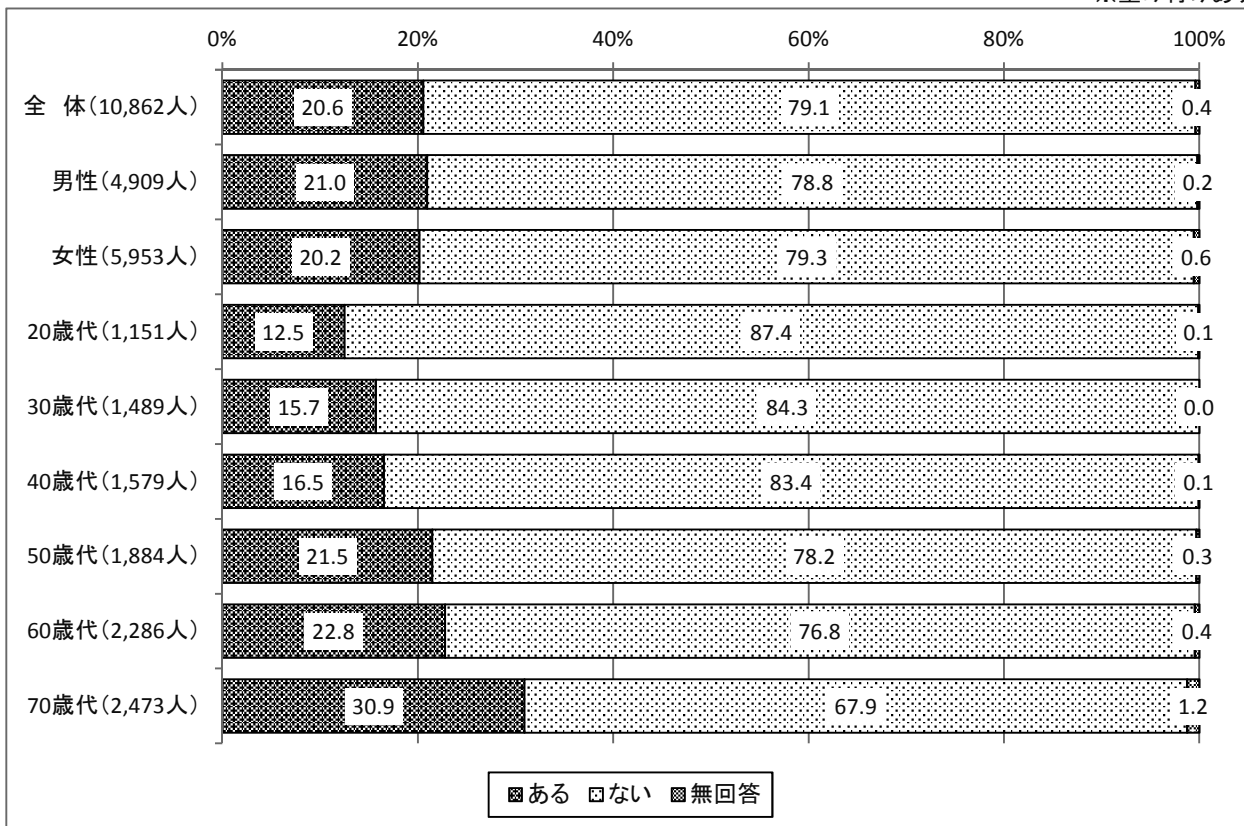
参考値 平成22年国民生活基礎調査 よいと思っている(「よい」と「まあよい」をあわせた者) 38.5%(6歳以上)

※重み付けあり



問2 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(○は1つ)

※重み付けあり



健康上の問題による日常生活への影響が「ある」と回答した割合は、全体の2割程度であった。

性別の集計では、男女間の回答に大きな差はなかった。

年代別の集計では、年を重ねるにつれて健康上の問題による日常生活への影響が「ある」と回答した割合は高くなった。この傾向は、50歳代、60歳代までは緩やかに増加し、70歳代では大きく増加していた。

市町別の調査結果では、上関町、阿武町において、健康上の問題による日常生活への影響が「ある」と回答した割合は高かった。

参考値 平成22年国民生活基礎調査 「日常生活に制限あり」11.9% (20歳から79歳まで、不在者を除く)

※重み付けあり

